

秋の特別展

ムナカタ国はあつたか

～魏志倭人伝の国々からみた宗像～

平成26年

9/30(火) — 11/16(日)

会場 海の道むなかた館

〒811-3504 福岡県宗像市深田588番地

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

開館時間 9:00—18:00

お問合せ TEL:0940-62-2600 FAX:0940-62-2601

<http://searoad.city.munakata.lg.jp>

入場無料

主催：宗像市・宗像市教育委員会

協力機関：飯塚市教育委員会 飯塚市歴史資料館 糸島市教育委員会 伊都国歴史博物館 小郡市教育委員会
小郡市埋蔵文化財センター 春日市教育委員会 春日市奴国の丘歴史資料館 北九州市立いのちたび博物館
九州歴史資料館 古賀市教育委員会 古賀市立歴史資料館 佐賀県教育委員会 佐賀市教育委員会
筑紫野市教育委員会 筑紫野市歴史博物館 筑前町教育委員会 福岡市教育委員会 福岡市埋蔵文化財センター
福岡市博物館 文化庁

秋の特別展

ムナカタ国はあったか、

～魏志倭人伝の国々からみた宗像～

ムナカタ国？

伊都国

奴国



田久松ヶ浦遺跡 木棺墓副葬品



隈・西小田遺跡 銅剣 (重要文化財)



田熊石畑遺跡 墓域出土品 (重要文化財)



立岩堀田遺跡 重圓「清白」銘鏡 (重要文化財)



平原遺跡1号墓 内行花文八葉鏡 (国宝)



博多遺跡群 S字状口緑台付壺



須玖岡本遺跡坂本地区 銅鑄型

田熊石畑遺跡の発見により、いま弥生時代の宗像が注目されています。わずか6基の木棺墓から15点もの武器形青銅器がみつかり、北部九州屈指の有力者集団の存在が明らかになったためです。この有力者集団が活躍した時代から、古墳時代に国家的祭祀といわれる沖ノ島祭祀を担った集団が出現するまでの空白の期間に、宗像はどのような姿をしていたのでしょうか。果たして、魏志倭人伝に記される国々の一国として、この宗像に一大勢力が存在したのでしょうか。

今回の特別展は、弥生時代の成立から弥生社会の発展を追い、魏志倭人伝に連なる国々、「伊都国」と「奴国」の実像をみながら、同時代の宗像地域に「国」はあったのか、「ムナカタ国」存在の可能性について迫ります。

海の道むなかた館 宗像市郷土文化学習交流館

〒811-3504 福岡県宗像市深田 588 番地

TEL 0940-62-2600 FAX 0940-62-2601

開館時間 9:00 ~ 18:00

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

入館料 無料

URL <http://searoad.city.munakata.lg.jp>

交通 車で九州自動車道若宮インターから約20分、古賀インターから約25分

公共交通機関でJR東郷駅前バス停より宗像大社経由・神湊波止場または光陽台6丁目行きバス(約20分)宗像大社前下車

